

見学会および第22回若手の集いを終えて

若手の集い担当 倉科 昌*

日本海水学会第75年會に合わせまして、前日の2024年6月25日(火)に見学会および第22回若手の集いを実施いたしました。見学会は海水淡水化センター(沖縄県中頭郡北谷町)で50名、第22回若手の集いは居酒屋「かなさんや〜」(同町)で38名の方にお集まりいただきました。お忙しい中ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

前週までは雨模様だった沖縄も、快晴に恵まれ気温も30℃を越えた暑い日になりましたが、当日は14時に那覇空港から貸し切りバスで出発し、33名の方が乗車しました。那覇空港到着が遅延したフライトに搭乗された方もいらっしゃいましたが、予定された全員が時間までにお越しいただき、感謝しております。貸し切りバスについては第75年會の方から支出していただいております。海水淡水化センターには自家用車でお越しいただいた方も含めて50名の参加になり、15時から海水淡水化センターのセンター長 垣花 久好様から沿革および設備概要について解説していただいた後、事業所内を見学させていただきました。ここでの見学会は、私が初めて日本海水学会に参加した2014年にも実施されていましたが、今回初めて訪問された方も多かったようで皆様興味深そうに見学されていました。1ヶ月に10日ほど渇水の際に稼働するそうで、当日は稼働している日ではありませんでしたがガラス越しにろ過器、高圧ポンプ、逆浸透設備など大規模な装置を見学することができました。見学後には質問時間を設けていただきました。参加者からの海水学会会員ならではの内容にも答えていただき、活発な質疑応答が成されました。集合写真撮影(写真1)の後、16時15分頃に若手の集い会場付近へ向けて出発しました。

北谷町アメリカンビレッジ周辺に到着してから30分程度の休憩時間を挟んで、17時から居酒屋「かな

さんや〜」で38名の方が出席されて若手の集いを開催しました。初めに今回の担当で、若手会会長でもある私、倉科からご挨拶申し上げました。乾杯のご発声は当学会参与であり長年若手会をご支援してくださっている東郷育郎様(元旭化成)からいただきました。貸し切りバスの時間の都合上、例年よりも早い時間の開催となりましたが、多くの皆様にご参加いただいたことに感謝申し上げます。宴の中では企業の方や大学教員、学生と職種や世代を問わず、活発な議論が行われ、皆様が交流や親睦を深めていらっしゃいました。また本来はお店のライブ演奏は19時からなのですが、今回はご好意で時間を早めて実施していただきました(写真2)。最後に、東郷様を迎えに来られていた学会



写真1 見学会集合写真



写真2 若手の集い ライブ演奏の様子

* 徳島大学 (〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1)
TEL: 088-656-7418, E-mail: kurashina.masashi@tokushima-u.ac.jp

会長の比嘉充先生（山口大学）から締めのご挨拶をいただき、若手の集いは19時に閉会となりました。その後、貸し切りバスには15名の方が乗車され、沖縄市まで13名、読谷村まで1名、恩納村まで1名（私だけ）、と無事にバス貸し切りの時間内に送り届けることができました。

例年同様、今回の見学会・若手の集いにおいても、日本海水学会の皆様をはじめ多くの方のご支援をいただきました。年会の実行委員長 比嘉先生を始めとする皆様には、貸し切りバスの支出とご手配等をしていた

いただきました。また、若手会会員の皆様、特に（公財）塩事業センター海水総合研究所の邑上泰平様、佐々木貴明様、中島聖珠様には、実施にあたり多岐に渡るサポートをいただきました。深く御礼申し上げます。今年度開催予定の若手会主催の活動計画としては、第16回学生研究発表会になり、年会と同じく沖縄県ですが、今度は久米島で開催する予定です。詳細は、本号および次号の会告に掲載していますのでご確認ください。多くの方のご参加をお待ちしております。今後も若手会をよろしくお願い致します。